

目標

話し言葉やコミュニケーションに何らかの心配があるために、学習や社会生活の面で、本来の力を十分に発揮できない幼児や児童に対して、その状態を改善するよう指導支援する。

対象の幼児・児童

- 正しい発音で話せない。(構音)
- 話すときにつかえたり、音を繰り返したりする。(吃音)
- 対人関係に不安があり、言葉を表出できない。(選択性かん黙・集団不適応)
- 言葉の発達が遅い。(話せる言葉が少ない・言葉が繋がらない)

支援の方法・内容

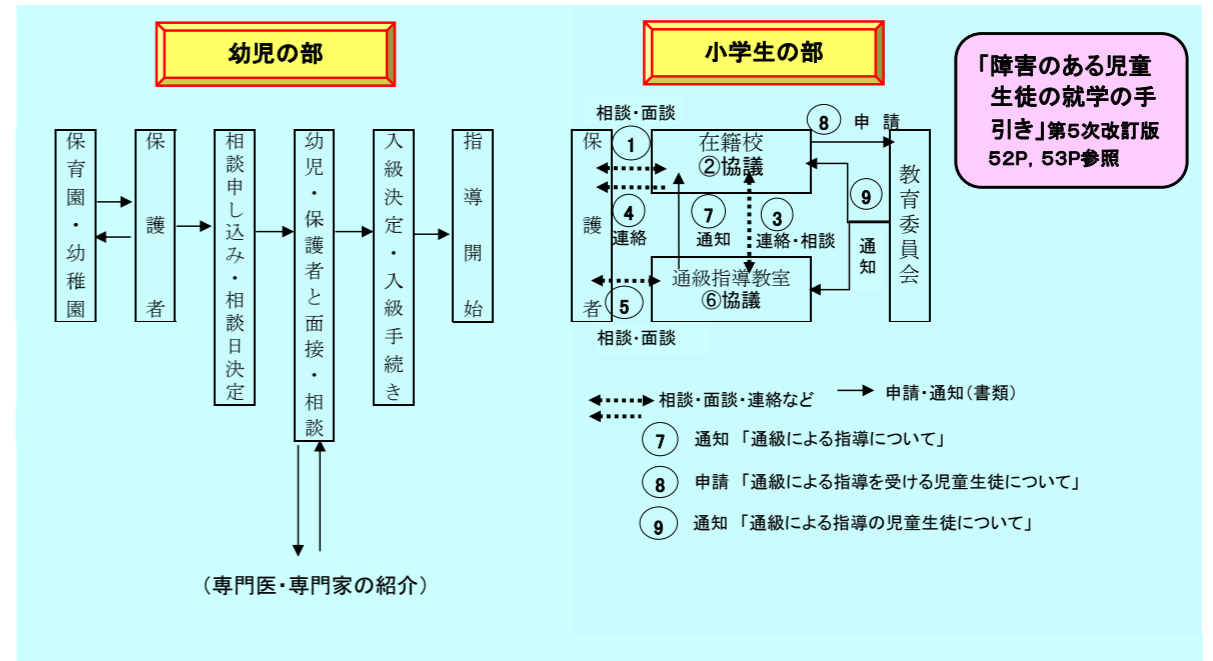
- <意欲> 遊びや応答的関わりを通して、楽しい雰囲気づくりに努め、話をしたいという意欲を高める。
- <聞く力> 正しい発音を聞き、正確に言葉を聞き取ったり、聞き分けたりできるようにする。
- <発音練習> 舌や唇の発達を促し、正しい口形で発音できるようにする。
- <言葉の力> 会話を楽しみながら、一人一人の実態に合わせて言葉を増やし、適確に話すことができるようにする。

運営の方針

- 利用対象児は、市内に在住している保育園・幼稚園の年少児以上の幼児と小学校児童とし、保護者の付添いを必要とする。
- 指導時間は幼児・児童ともに45分とする。実態に応じて週に1回～月数回指導する。
- 一人一人に応じた個別の計画のもとに、気持ちをほぐしながら発語を促し、いろいろな発音の聞き取りや発声、発音の練習を行う。
- 個別指導を基本とするが、グループ指導を行うこともある。
- 指導効果を高めるため、保育園・幼稚園・認定こども園・在籍小学校と切れ目のない連携に努める。
- 家庭との連携を図り、個別懇談をしたり、保護者研修会を紹介したりして、言葉の発達についての理解を深める。
- 言語に関する教育相談は、適宜行い、今後の指導について、保護者と共に考えていく。
- 相談料・指導料は無料。

活動の様子

入級に至るまでの流れ

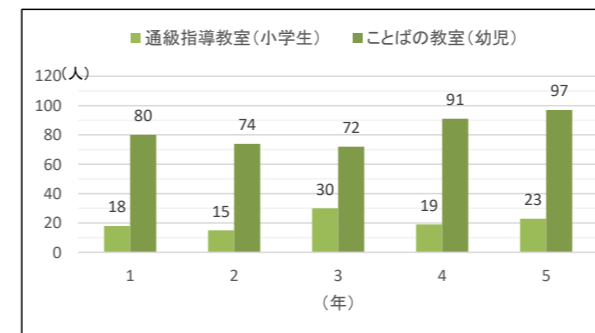


在籍人数 (2024年4月1日現在)

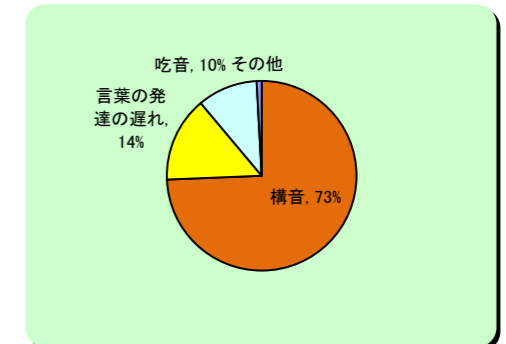
| | | | |
|--------|-----|--------|----|
| ことばの教室 | 39人 | 通級指導教室 | 5人 |
|--------|-----|--------|----|

利用者の実態

(1) 通級児童・幼児の利用者数の推移



(2) 実態別による内訳 (令和5年度)



(3) 年令別による内訳 (令和5年度)

| | | | | | | |
|----|----|-----|----|-----|----|-----|
| 幼児 | 年少 | 15% | 年中 | 35% | 年長 | 49% |
| | | | | | | |
| 児童 | 1年 | 48% | 2年 | 26% | 3年 | 26% |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

職員

| | |
|---------------|--------------|
| 学級長 | 横山 美智子 |
| 通級指導教室 (児童担当) | 澤田 美穂 |
| ことばの教室 (幼児担当) | 山本 敬子 浦野 由美子 |